



民謡発表会(民謡学習章美会)

日ごろ鍛えた民謡を尺八や三味線を伴奏に北海道から九州までの全22曲披露した。フィナーレには全員で花笠音頭を唄いました。(阿部記者)



吹矢の展示と実演・体験(狭山台健康吹矢クラブ)

発表時には見学に来た男女数人が実践体験の順番待ちをしていました。会場では武道の作法を彷彿させる実演が粛々に行われました。(牧野記者)

11月1日(木)~11月4日(日) 展示

後期市民文化祭も各種力の入った作品が数多く会場を賑わせました。



階段踊り場にはあでやかな晴れ着(手結び着付同好会)



切り絵展(狭山台切り絵の会スヌーピー)

「狭山台切り絵の会スヌーピー」西岡龍雄さんのカラーの切り絵「秋の湖」は木々の紅葉と、湖面に写っている様は、まさに鏡に映った美しい色彩とを感じるもので、新しい切り絵の領域に感じました。

(村上記者)

10月29日(月) 発表会



ハワイアン音楽・ウクレレ演奏(ka・Makani)

彩り鮮やかなアロハシャツでの演奏、二人の女性ボーカルにベースギターの低音が奥行きを出して心地よい。6年前に歌好き、ウクレレ好きが集まって素人10人、先生無しで活動。司会の木村さんは「74才から始めて80才になっちゃった、でも楽しくやってるよ」。「虹の彼方に」から始まり、青春歌謡も含めて全12曲。「世界は二人のために」など、皆で合唱し、良いムードのなか「珊瑚礁の彼方」で締め括りました。

10月30日(火) 発表会



浅井先生指揮のリコーダー演奏(D・マンマー合奏団)

会場は満席、補助席を追加しての演奏会です。このサークルの指導を務めてきた浅井 愛先生(上野学園大学器楽学科卒)の軽妙な語りで、楽器としてのリコーダーの種類や音色、発祥の歴史などの解説があり、先生の指揮で「崖の上のポニョ」「G線上のアリア」、そして「見上げてごらん夜の星を」を会場のみんが歌いました。この合奏団は、1977年に発足。現在21名の団員が狭山台公民館(火曜日の午後)で練習しています。

※3/26(火)12:00~「第41回東京リコーダー協会コンサート」王子 北とびあ (葛西記者)



力作ぞろいの写真展(写真サークル彩光会)



木彫り展(木彫り桜会)

「木彫り桜会」の動物や、仏像などの作品は、木目が小細くて彫刻刀で彫り進める時に大変苦労すると思われました。

また制作期間も、大変長い日数が掛かるように思われました。

(牧野記者)



折り紙のとんぼやふくろうが楽しい世界を作り出す(折り紙ボランティアたんぼぼ)



「フェルメールに憧れて」の模写2作品(絵画同好会パレット)

「パレット同好会」の河合昭男さんはオランダの画家フェルメールにあこがれ、オランダの美術館に行き「牛乳を注ぐ女」「真珠の耳飾りの少女」の観察や、写真撮影をした後、ご自分で描き上げた模写作品であると説明してくれました。本物と疑う程の美しい作品ですね。(村上記者)

10月27日(土)~10月30日(火) 展示



陶芸作品(男の大学院)

男の大学院では多様な活動記録&写真を掲示して、理解を深めました。特に、写真の木造建築物と見えたものが、陶芸制作品であり驚きでした。

和紙ちぎり絵は、色彩画と勘違いする程の作品に感動しました。(村上記者)



和紙ちぎり絵展(和紙ちぎり絵カタクリの会)

10月27日(土)~11月4日(日) 模擬店



模擬店の様子(狭山台シルバークッキング会)



キーママター(ドライカレー)

10月27日(土)、「狭山台シルバークッキング会」が美味しいキーママター(ドライカレー)と、クコの実が入った薬膳スープを付けて、100食調理し販売しました。自宅に持ち帰って食べる方もいて、直ぐに販売完了しました。(阿部記者)



白玉汁粉(きらく会)



焼き込みご飯・フランクフルト・ベルギーワッフル(狭山台地域づくりをすすめる会)